

# GOO 身近な ふくしの情報お届け便

社協だより

2025年  
5月号

[第433号]

特集

さっちゃんの  
修学旅行応援プロジェクトが  
スタートします！

募集中！

三田市で就学援助を  
受けている家庭の子どもたちが  
修学旅行をより楽しむための  
寄付金を募集しています！

詳しくはP2~3へ♪



# さっちゃんの 修学旅行応援プロジェクトスタート

三田市社会福祉協議会(以下「社協」)では、就学援助を利用されている世帯の小学校6年生及び中学校3年生が修学旅行の参加にあたって、そのお小遣いの一部を助成しています。

助成にあたっては、皆さまからいただいた寄付金を財源に実施しており、令和5年度に募集した際には1,440,759円(104件)のご協力をいただきました。

そして、この度、令和7年度以降の事業実施にあたり、改めて寄付金を募集いたします。皆さまのあたたかいご協力をお待ちしております。



目標額

## 650,000 円

※令和7年度不足分、令和8年度分に充当します。  
目標額を超えた場合は令和9年度分に充当します。

募集期間

## 2025年 8月31日(日) まで

協力方法

- ①社協の窓口(総合福祉保健センター、各地域福祉支援室、シニア・ユースひろば)へ持参
- ②指定口座への振り込み

※指定口座(兵庫六甲農業協同組合、りそな銀行)をご案内いたしますので右記(問合せ)までご連絡ください。  
(振込手数料はご負担いただきますようお願いいたします。)

寄付による各種控除について

社協に対する寄付金は、「所得控除制度」または「税額控除制度」の対象となります。

この2年間で **225人** の方を応援することができました

令和5年度	
助成金(小学生41名、中学生70名)	473,000円
助成金振込手数料	11,440円
寄付募集チラシ代	4,980円
合計	489,420円

令和6年度	
助成金(小学生64名、中学生50名)	447,000円
助成金振込手数料	11,990円
助成金決定通知郵送代	31,595円
合計	490,585円

※令和5年度の寄付金1,440,759円のうち、残り460,754円を令和7年度に充当します。  
(小学生70名、中学生70名程度を想定しています。)



### Message

いつもありがとうございます。素敵な思い出づくりの大きなご支援本当にありがたいです。大切につかわせていただきます。



### ありがとう メッセージを ご紹介

※原文のまま



### Message

いろいろな物が(食品、電気代)高くなっているので助かります。ありがとうございます。



### Message

寄付して頂いた方、本当に感謝しています。本当にありがとうございます。自分はいつも助けて頂いてる側なので、自分には何ができるのかと考えます。温かいご支援ありがとうございます。



### 令和5年に ご協力 いただいた方の 思いをご紹介します



インターネットで、家計が苦しく、修学旅行の際に使える小遣いに困っている児童や生徒が居ることを知りました。

私は太平洋戦争末期と、敗戦直後の頃に小学校(当時は国民学校)と中学校に在籍し、混乱期のため、また、中学校卒業後、5年を経て入学した定時制高校でも、通学のため定時退社させてもらっている工場から、さらに修学旅行のための休暇をもらうわけにはいかず、一度も修学旅行に行ったことがありません。

若い人たちが少年少女時代の思い出を残すために、修学旅行を楽しんでもらいたいと思い、僅かですが協力させていただきます。

[90代男性より]



**皆さまからのあたたかいご協力をお待ちしております♪**

【問合せ】社会福祉法人三田市社会福祉協議会 相談支援係

TEL:079-550-9004 FAX:079-559-5704

Eメール:kenri@sanda-shakyo.or.jp

住所:三田市川除675(三田市総合福祉保健センター内)

# 『自分らしく 安心して暮らす 共生の地域づくり』

皆さまと令和4年度に策定した第3次地域福祉推進計画も3年目を迎えます。顔の見える関係性を大切に、暮らしの中でたくさんの「よかった」が生み出せるよう、令和7年度も、地域住民・関係機関の皆さまと役職員で一丸となり取り組みます。



## 誰もが『認め合う』安心な地域づくり

年齢・性別や国籍、障害のある・なしに関わらず、互いの多様性の理解を深め、「地域を共に創る人」として、大切にされ、一人ひとりの力が活きる地域づくりをすすめます。

### ● 障害者の地域自立生活の支援(地域生活の推進)

社協のサービス利用者が望む生活(自分で決めてやってみる)をサポート、災害時に近隣と助け合える地域での関係づくり支援

### ● 地域福祉活動・ボランティア活動の推進

地域福祉活動やボランティア活動を広く市民に啓発・既存の活動や資源をつないで活動を促進

### ● 多様な「つどい場」づくりの支援(共生の居場所づくりの推進)

気軽にSOSを発信できる日常の身近な場所、幅広い世代が出会いとつながる共生の居場所づくり



▲ひとり親世帯同士がゆるくつながり、ゆっくり過ごせる居場所「ペアちる」 “桜もちをつくろう”

## 多様な力がつながり、協働する仕組みづくり

既存の対象や分野によるつながりや方法に限らず、多様な力が柔軟につながることで、地域福祉推進のさらなる活性化をすすめます。

### ● プラットフォームの充実

いろいろな分野のさまざまな職業、立場の人たちが話し合えたり、力をあわせるきっかけづくりを進めます。

### ● 中間就労の環境整備(場づくり、サポーター・人づくり)

ひきこもり状態にある人や障害のある人等が働ける機会をつくっていくため、農業関係者、企業・事業所などとの連携を行います。

### ● 共生型デイサービス等の研究

年齢により制度が変わっても、生活環境が変化しないよう、支援の方法を研究します。安心した生活に向けてあらゆる資源や関係機関と協力し合い実現していきます。



▲外国にルーツのある方の支援をされている市国際交流協会とのネットワーク「さんだ多文化ふくふくネットワーク」で多言語相談窓口チラシ



ポイント

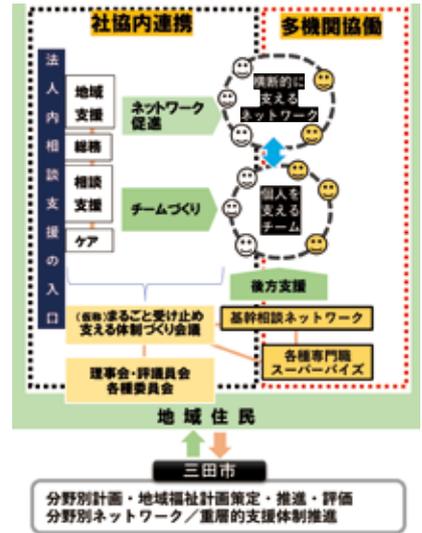
- ① 個人の権利が尊重される地域における暮らしの実現
- ② 地域の特性に応じた世代間や住民間交流・多様な主体が協働する場の創出
- ③ あらゆる相談を受け止め、解決につなげる信頼される総合相談



# SOSをまるごと受け止め、支える体制づくり

障害者・高齢者・子どもなどの制度の支援対象だけでなく、一人ひとりの「安心」につながるよう、SOSが見逃されない体制づくりを進めます。

- **総合相談支援体制の構築**
- **民間福祉・団体／分野別ネットワークの促進支援**  
社協内及び多機関との協働による総合相談体制の構築を継続します。複雑・困難化する相談やSOSを受け止められる仕組みをつくります。
- **権利擁護支援体制整備の構築支援**  
中核機関(三田市権利擁護・成年後見支援センター:市受託)を中心に、市・関係機関と協働し権利擁護支援体制の構築を支援します。



社協がすすめる総合相談支援体制イメージ▶  
 社会福祉法人 三田市社会福祉協議会 第3次地域福祉推進計画  
 3 SOSをまるごと受け止め、支える体制づくり(相談支援/権利擁護体制づくり)より抜粋

## 地域福祉を進める基盤づくり

社協の中間支援機能をはじめとする組織力の強化と、地域の住民や専門職・関係機関、あらゆる主体の協働力が発揮される基盤づくりをすすめます。

- **持続可能な組織経営に向けて**  
法人運営の安定化と持続可能性を確保する経営改善  
新たな人材の確保、定着、育成強化
- **地域福祉協働推進ネットワークの促進と、理事会における計画の進捗管理**  
民間の協働領域の拡大をねらいとしたネットワークと、理事会・評議員会の両輪で、計画の推進体制を強化します。
- **圏域の違いによる状況の分析とエリア活動に関する共通理解と活動の促進**  
三田市において、“効果的な力合わせ”が行える住民主体の活動圏域について考えます。

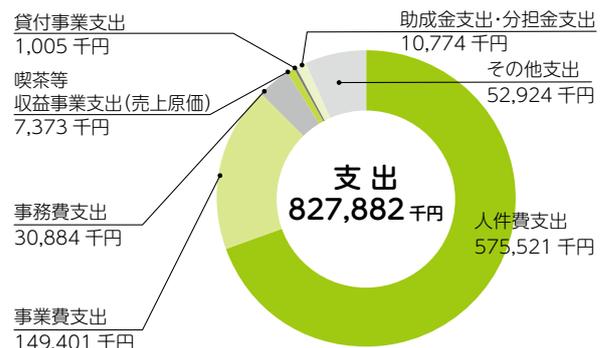
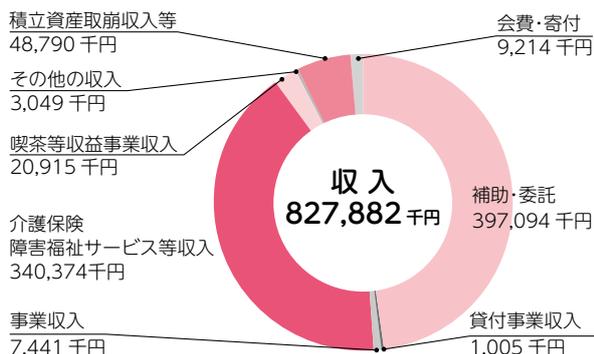


▲協働推進ネットワークの様子



### 令和7年度 予算

皆さまからご協力いただいた社協会費やご寄付(善意銀行・共同募金等)、市からの委託金、補助金、介護サービス収入などを財源に、地域福祉の推進を目的とした様々な事業を運営しています。



# 「身近な相談窓口＝地域の安心」

高齢者・家族の相談窓口で市内6カ所に設置された「地域包括支援センター」は「地域の安心につながる身近な窓口」です。5月号は、地域包括支援センターの機能のひとつである「総合相談」を取り上げます。

## Q 地域包括支援センターって何？

A 市内6カ所に設置された高齢者に関する公的な総合相談窓口です。専門職(社会福祉士、保健職、主任ケアマネジャー)を配置し、様々な事業を行っています。ご本人やご家族からの相談はもちろん、近隣の方の「(ご本人やご家族は)大丈夫とおっしゃるけど、気になる」もお寄せください(プライバシーは厳守します)。

担当地区・連絡先などはこちら(市ホームページ)▶



広野・本庄地域包括支援センター

三田温泉病院内 1階

藍地域包括支援センター

特別養護老人ホーム

さんすい園内 1階

カルチャータウン

ウッディ地域包括支援センター

ウッディタウン

市民センター内1階

＝当会運営センター

三輪北・小野・高平地域包括支援センター

特別養護老人ホーム

サンウエスト内1階

三田市地域包括支援センター

三田市総合福祉保健センター内2階

フラワー地域包括支援センター

特別養護老人ホーム

ゼフィール三田内1階

## Q どんな相談ができるの？

A 相談内容は、健康のこと、制度のこと、介護サービスのことなど様々です。(以下相談内訳参照) 話しやすい環境が大切ですので、相談方法や場所は、オーダーメイドで設定できます。相談内容によって、別の専門機関や専門職(法律・防災など)、ボランティア・地域活動者の方などへ、ご意向を確認したうえでおつながりする場合があります。

### 相談スタイルもオーダーメイドで

【相談方法】 来所・お電話・メール など

【相談場所】 地域包括支援センター・ご自宅・ご指定の場所 など



### 相談内訳(令和6年4月～令和7年1月末)

	三田包括	ウッディ包括
延件数	2,322件	3,091件
内容(全市)	①介護保険制度 ②生活全般 ③認知症	

\* 認知症に関する相談が増加傾向にあります。

## Q 「認知症」について、詳しく相談したい。

A センター事業として、「もの忘れ相談」、認知症に関する情報が得られる公式LINEがあります。

### もの忘れ相談(予約制)

普段の生活で、「もの忘れやうっかりミスが多くなった」「新しいことが覚えにくい」など、認知症専門医に気軽に相談いただける相談窓口です。



【開催日】 第1・第3木曜

- ①14時00分～
- ②14時40分～
- ③15時20分～



※その他、介護者交流会も開催しています。

### センター公式LINE オレンジライン

認知症に関するお役立ち情報を定期的に配信しています。3月末現在登録者は245名、あなたもぜひ！



◀登録はこちら

\*もの忘れ相談や、脳の健康度がわかる「タッチで脳の健康チェック」も申込できます！

健康維持をサポートするいきいき百歳体操や、「認知症カフェ」「介護者交流会」など、ご本人も家族も安心できる居場所づくりの支援にも取り組んでいます。



地域住民の皆さんへ

少しでも身近に感じていただけたでしょうか？当会運営以外の包括支援センターも、皆さんに身近に感じていただけるよう広報紙の発行やセミナーの実施などを行っています。まずは「こんなこと相談していいのかな」「地域包括を紹介したいけど…ちょっと心配」など、問合せから、お気軽にお寄せください。皆さんの声が、皆さんだけでなく、三田の安心につながります！

【問合せ先】三田市地域包括支援センター TEL:079-559-5941 Eメール:hokatsu@sanda-shakyo.or.jp [月曜日～金曜日]9時～17時30分

## 令和6年度 募金百貨店プロジェクトのご報告

### ●募金百貨店プロジェクトとは

「地域のためになる寄付付き商品」を企画・販売し、その売り上げに応じて寄付していただくしくみです。企業側の地域貢献活動となるだけでなく、商品を購入された方にとっても、日常の消費活動が地域支援につながる新しい寄付のカタチです。



### ●募金百貨店プロジェクトにご協力いただいた 企業・事業所の皆さま(敬称略)

喫茶室ポポロ、かもめベーカリー、株式会社 深谷工務店、シャトレゼ 三田広野店  
美容室プロフェッショナル、株式会社 大東、花咲、京都西陣前田、兵庫ブルーサンダーズ  
Print コーディネーター、兵庫ブレイバース、ポカポカパン



計124,078円のご協力をいただきました。これをふまえ令和6年度赤い羽根共同募金の最終実績は、6,713,812円になりました。皆さまからお預かりした募金は、今年度の市内の地域福祉活動の財源として大切に活用いたします。

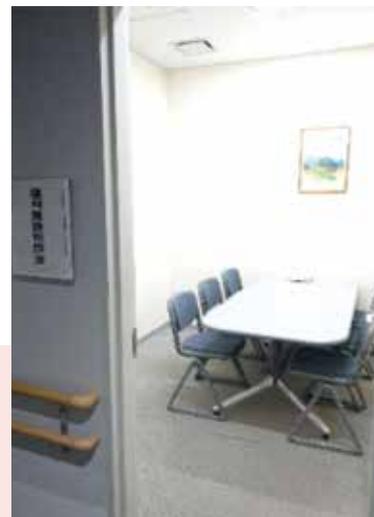


【問合せ先】 三田市共同募金委員会 (事務局：三田市社会福祉協議会 総務課) TEL：079-559-5940 FAX：079-559-5704

## 福祉の法律相談会で相談してみませんか？

### 弁護士、司法書士に無料で相談できます！ (予約制、1人1回(45分間)まで)

三田市権利擁護・成年後見支援センターでは、成年後見制度をはじめ、債務整理、相続、遺言、虐待に関することなど、専門的な知識が必要な困りごとに対して、弁護士、司法書士への相談会を開催しています。困りごとのある本人だけでなく、家族や本人を支援する立場の方からの相談もできます。ぜひ、お気軽にご相談ください。



#### 相談日(45分間)

第1木曜日(弁護士) 13:15～、14:15～、15:15～  
第3木曜日(司法書士) 13:15～、14:15～、15:15～

#### 5・6月の予定

5月1日(木)、5月15日(木)、6月5日(木)、6月19日(木)  
※予約は7日前までに当センターへ連絡ください。  
※センターの職員(社会福祉士等)が事前に相談内容をお聞きし同席します。

【問合せ先】 三田市権利擁護・成年後見支援センター(受託 社会福祉法人三田市社会福祉協議会)  
TEL:079-550-9004 FAX:079-559-5704 Eメール:kenri@sanda-shakyo.or.jp

## おとなのひきこもり家族のつどい「らくに」

- 【日時】 令和7年5月28日(水) 14時～16時30分 【参加費】 無料
- 【対象】 概ね18歳以上でひきこもり状態にある(またはあった)人の家族
- 【定員】 15名(匿名での参加可) ※申込み不要
- 【場所】 三田市総合福祉保健センター 3階 集会室(三田市川除675)



【問合せ先】 三田市生活安心サポートセンター(受託 社会福祉法人三田市社会福祉協議会)  
TEL:079-550-9081 FAX:079-559-5704 Eメール:kenri@sanda-shakyo.or.jp

🍷 温かい善意ありがとうございました。(2月1日～3月31日分)【三田市善意銀行】敬称略

日付	金額・物品	掲載名	備考
2.1	2,000円	2024.1.1	
2.3	5,000円	フラワー地域福祉支援室 設置の善意の箱	
2.4	1,000円	三宅	
2.19	50,000円	本門佛立宗 阪神布教区 「福祉の輪をひろげる会」事務局	
2.19	10,000円	三田山草会	
2.22	1,500円	愛善会	
2.22	2,000円	匿名	
2.25	3,000円	何でも屋の加代	
2.26	10,000円	有限会社エコ・フィールド	
3.1	2,000円	2024.1.1	
3.3	5,000円	フラワー地域福祉支援室 設置の善意の箱	
3.4	10,000円 紙オムツ	匿名	
3.4	69,354円	匿名	

日付	金額・物品	掲載名	備考
3.5	肌着、事務用品	今西美津子	
3.6	1,000円	三宅	
3.10	39,000円 クオカード2,000円分	匿名	
3.11	4,616円	メルカート設置の善意の箱	
3.12	切手24,983円分	雉子の会(切手ボランティア)	ごいっしょに 活動しませんか
3.17	1,129円	匿名	
3.24	10,000円	有限会社エコ・フィールド	
3.26	3,000円	紺紐屋の竜	
3.26	64円	匿名	
3.27	17,164円	三田市職員有志一同	研究会解散に際して
3.31	7,562円	三田市総合福祉保健センター 設置の善意の箱	
3.31	1,236円	末西湖畔地蔵	

補聴器相談(予約不要)

月1回 第3水曜日に開催

5月21日(水)、6月18日(水) 10時～12時 ※祝日除く

【連絡先】三田市総合福祉保健センター受付

TEL 079-559-5700 ※9時～17時

社協会費にご協力いただいた皆さまを  
ご紹介しします (2月1日～3月31日)(敬称略)

【一般会費】 幡尻区、東向区

【特別会費】 三田市身体障害者福祉協議会



三田市社協子育て支援講座開催 !!

子育てサポーターを養成する講座です。詳しくはチラシをご覧ください。

(産後等ヘルパー:産後の訪問型家事育児支援)(ファミリーサポートセンター:0歳～小6の子どもの預かり、送迎)

時間 9時45分～12時15分

回数	日時	内容	講師
第1回	6月20日(金)	保育の心	言語聴覚士 養育里親 宇野田陽子さん
第2回	6月26日(木)	子どもの遊び	おもちゃコンサルタント 中岡宣子さん
第3回	7月 1日(火)	安全・事故	三田市消防本部 職員
第4回	7月 4日(金)	子どもの世話	助産所マズケア 南田理恵さん



場所 三田市多世代交流館シニア・ユースひろば多目的フロア

定員 30人(超えた場合は抽選)

受講料 無料

対象 子育て支援に関心のある市内在住の方

一時保育 1歳以上就学前の子ども4名まで(要予約)

チラシ▶

申込方法 令和7年6月13日(金)までに、名前・住所・電話番号・一時保育の有無を明記し、FAXまたはEメール  
(FAX:079-562-8424 Eメール:famisapo@sanda-shakyo.or.jp)



問合せ先 さんだファミリーサポートセンター TEL:079-559-8996

介護に関する入門的研修 [主催]兵庫県 [共催]三田市

日時 令和7年6月7日(土)・21日(土)・28日(土) 9時30分～18時

場所 三田市役所

内容 介護の入門講座(無料)です。3日間を通して介護の基本に触れます。\*1日のみの受講も可

定員 40人(先着順) 参加費 無料

申込み 令和7年6月5日(木)までに、名前・住所・電話番号を明記し、電話、FAXまたはフォーム、二次元コードの利用

問合せ先 (受託業者)株式会社シニアスタイル教育研修部 TEL:06-6480-5572

申込フォーム▶



さんだファミリーサポートセンター体験保育「ドレミ」

ファミリーサポートセンターの協力会員に子どもを預けてみませんか?

リフレッシュしたい方、入会登録を検討されている方など、気軽に参加してください。

日時 令和7年5月29日(木) 10時～12時 場所 三田市総合福祉保健センター 第1・2会議室

定員 6人 利用料 子ども1人につき500円 対象 [保護者]市内在住、在勤の方 [子ども]6か月から就園前の子ども

申込方法 令和7年5月22日(木)までに、保護者、子どもの名前と年齢、住所、電話番号を明記しFAXまたはEメール  
(FAX:079-562-8424 Eメール:famisapo@sanda-shakyo.or.jp)

問合せ先 さんだファミリーサポートセンター TEL:079-559-8996



Eメール info@sanda-shakyo.or.jp  
ホームページ http://www.sanda-shakyo.or.jp/  
三田市社協が保有している個人情報(当会個人情報保護規程に依り適切に管理し、無断で外部に提供することはありません。)



〒670-1504 兵庫県三田市川除5-5番地 三田市総合福祉保健センター  
おかけ間違いにご注意ください。  
079-559-5940 FAX 079-559-5704

